

## I. 第2期事業計画期間の教育目標

- 文武両道の地域密着型高校の実現
  - \*塩尻市（中信地区）唯一の普通科進学校&普通科スポーツ強豪校としてのステイタスを築き、「塩尻（中信地区）の英才は都市大塩尻高が育てる」学校づくり
  - \*信州大学との日常的な高大連携をとり信大進学を実現（徹底的な信州大学入試対策）
  - \*強化部を中心に、個人競技へのサポートも厚くして、部活・個人の全国大会出場
- 先進的な首都圏教育（ICT教育等）の推進
  - \*学習システムや学校行事（企画・運営）等を導入して他校と差別化を図る。首都圏の文化を発信する学校づくり
  - \*東京都大学との高大連携、グループ各校（小・中高）との連携
  - \*旧帝大等への進学
- グローバル教育・探究活動の充実
  - \*「国際交流センター」を設置し、留学生対応（海外語学研修、短期・長期留学）及び各プログラム（帰国子女の受入、海外大学への進学、発信型「交渉できる」英語教育）の充実
  - \*探究教育の発展（国内での調査・研究を発展させ海外の学生との活動）

## II. 本年度の施策内容（達成目標）及び具体的な取り組み内容

### ■重点目標Ⅰ 良質な教育の実践

#### ■重点課題① 魅力ある教育プログラムの開発・実践

- ①1・2年生：特別選抜類型中心に、主要3教科の学力向上講座として、基礎・応用の2クラス編成で放課後講座を開講。
- ②特別選抜類型と特別進学コースで毎朝主要3教科の小テストを行い、学習習慣の確立を図る。成績下位者は放課後フォロー講座を行う。テスト作成の指示は本校職員が、問題作成・採点とフォロー学習を外部委託する。
- ③学習支援センターの机・イスの更新と配置換えを検討する。
- ④探究活動の推進  
他校の探究、国際コースの視察、連携外部機関の検索・打診、日本地理学会高校生ポスターセッションでの発表など、校外発表への参加。フィールドワーク部で地元地域調査の実施。上海、フィリピンで実施可能なフィールドワークの事前調査。

#### ■重点課題② サポート体制の充実

##### (1) 部活動の活性化

- ①部活動において専門知識を有する部活動指導者を充実させる
  - \*外部指導者の導入
- ②部活動加入率の向上に向けた取り組み

##### (2) 高大連携事業の充実

##### (3) 進学各種講座の積極的展開（予備校講座・思考力養成講座）

##### (4) 学習支援センター運営業務の効率化

##### (5) 生徒会活動の活性化

- ①地域ボランティア活動の実践
  - \*田川シバザクラ植栽活動（継続）
  - \*通学路花いっぱい運動（継続）
  - \*全校クリーンキャンペーン（継続）
- ②地域との交流
- ③地域行政との関わり

\*通学路の安全等について塩尻市議会への要望、意見交換

\*生徒会役員による市長への陳情活動

### ■重点課題③ 教職員の人材育成・資質向上

①進学指導・受験指導の特化のためのスキルアップ研修会を実施。

②特別選抜類型の国公立大・難関私大対応授業・補習・進路指導が可能な教員を募集。

③教科会主催の授業研究活動を行い、結果をまとめて紀要原稿の執筆。

④受験教科・小論文研修会。

### ■重点課題④-1 ICT を利用した教育計画

#### ①動画配信

\*全科目大学受験対策講座

\*英語検定指導講座

②ICT 教育推進：Wi-Fi 機器の拡張整備（校舎内のどこでも受信可能）

### ■重点課題④-2 国際化計画

①コロナウイルス感染拡大に伴い、既存の国際教育活動（海外からの留学生や訪問団の受け入れ・イングリッシュシャワー・イングリッシュキャンプ・フィリピン語学研修・中国海外研修など）が中止になりそうであるが、感染が終息した場合には継続実施する予定。

②感染が終息しない場合には、オンライン英会話・フィリピン語学研修（オンライン）・Boston Harvard forum（オンライン）、オーストラリアの Mount Gravatt High School とのオンラインでの交流、中国語講座と韓国語講座も 2021 年度同様継続していく。

③GN を導入し、国際交流イベントの実施。

## ■重点目標Ⅱ グループ間連携の進化・拡大

### ■重点課題① 各学校の連携強化

\*探究コース

1 年では、都市大教授陣による出張講義、TAP 学生の交流。2・3 年では、都市大を含む大学の教授陣による本校生徒への研究指導、都市大を含む大学やその他の機関から助言者を招いての本校での研究発表会実施を検討

\*魅力ある高大連携への検討

・探究コースにおける連携を土台にして、これまでの連携を図りながら、魅力ある大学と高校の姿を、現場からの意見として高大連携委員会で話をしていただき、新たな連携の形について高校側から提案を行いたい。

・都市大進学制度を利用した都市大への進学拡大

\*グループ内高校間連携

・3 校が同じテーマにおいて、ディベートするなど知的交流の検討。

・生徒会の活性化のための交流を検討。

## ■重点目標Ⅲ 教育環境の整備・充実

### ■重点課題① 学習環境の整備・充実

\*選択教室等の教室整備、部活動の効率化を目指し、部室の配置転換を検討。

### ■重点課題② 効率的業務の推進

\*広報・募集業務の委託または専門員の採用

\*新日課表の検証と職員の持ち時間・授業内会議の再検討。

\*情報処理業務全般を担う専門職の育成

■学校独自の重点項目 コース再編計画

\*交流支援センター（人員の確保・インターネット環境整備・文化展示施設整備）

\*語学研修・短期留学・長期プログラムの継続と改善

\*姉妹協定校とのプログラムの刷り合せ

\*帰国子女入試制度と帰国子女生徒のプログラムについて検討・研究し、制度を構築する。

\*GNと本校英語教員によるグローバル教育への積極的展開。

■その他学校目標

学校課題① 進路指導

進学：国公立 24 名、難関私大（GMARCH7 名、日東駒専 15 名）

学校課題② 部活動の活性

高いレベルでの文武両道の実現